

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(土)・六日(日)

午前九時半・午後一時半より

五日(土)午後七時より

仏教婦人会報恩講



今号の法語



毎日掃いていても

落ち葉はたまる

これがとりもなおさず

人生である

人間である

田山花袋



今号の内容

- ・伝灯奉告法要が始まりました
- ・バザーへのご協力ありがとうございました
- ・夏休み子ども大会が開かれました
- ・千夏のきときと日記

いよいよ秋が深まってきました。お寺のイチヨウも色づき始め、今年も落ち葉舞う季節が始まります。

広濟寺のイチヨウの木は、オスとメスの二本。落ち葉もちらん大変なんです。イチヨウの実にしてもまた大変です。

毎年十一月の報恩講になるとイチヨウが実を落とし始めるのですが、広濟寺のイチヨウはダラダラと締まりなく、何日にもわたって実を落とし続けるのです。実の掃除が間に合わず、車に踏みつぶされた時に漂う「イチヨウ臭さ」にはいつも参ってしまいます。

掃除をしても絶えず落ちてくるのは、人間の煩惱も同じです。放っておくと他人を傷つけ肥大化し、「イチヨウ臭さ」どころではありません。

絶えず湧きおこってくる煩惱に対して、仏法を聞くことで上手に付き合っていきたいものです。

大谷光淳門主(右)と光真前門主(左)



伝灯奉告法要が始まりました

十月一日から本願寺にて、いよいよ伝灯奉告法要が始まりました。来年五月三十一日までの十期にわたり、八十日八十座勤められます。

ご門主のお代替わりを仏様に奉告し、そして全国の門信徒に披露するこの法要。先日、若院と若坊守が早速この法要に参拝してきました。

正信偈を用いた法要の後は、ご門主ご一家への生インタビューもあり、五歳になるご長男敬さまも加わってくださって、微笑ましくお祝いムード漂う時間を過ごさせていただきました。

一方で、ご門主の決意に満ちた厳しい表情も伝わってきました。み教えの灯を受け継ぎ伝承していくということ。それには、み教えの本当の価値を、私たち自身がしっかりと受けとめていくこと抜きにしては語れません。

この法要にお参りさせていただく中で、なぜ先祖の方々はこの灯を次世代に伝えようと思われたのか、また私が次世代に伝えたい灯は何なのか、本願寺の阿弥陀様の前で考えさせられるご縁となりました。

バザーへのご協力

ありがとうございますございました

九月三日(土)に西本願寺高岡会館にて第二十一回ダーナ・バザーが開かれました。高岡教区寺族青年会が主催しているこの催し。当日は天候にも恵まれ、多くの人で賑わいました。特に縁日コーナーには多くの子どもたちの姿が見られ、活気あふれるバザーとなりました。

皆さんのご協力のおかげでたくさんの方の支援をさせていただきましたことができました。本当にありがとうございます。

これからも広濟寺としてこのような活動への参加を続けていく予定です。皆さんの温かいご協力、よろしくお願いいたします。

今回の収益金は、県内のご縁ある福祉作業所さん、世界各地で活動している日本国際ボランティアセンター、また福島県からのホームステイ事業などを行っている高岡教区災害支援ネットワーク、そして今年起こった熊本地震の被災地へと送らせていただくことになりました。



広濟寺門徒もたくさんご来場くださいました

長光寺さんの裏山も探検！



夏休み子ども大会が開かれました

七月三十日(土)午後四時より石堤の長光寺さんにて、第十八回五位組夏休み子ども大会が開かれました。

今回のテーマは「お寺七不思議探検」。御堂でお参りをした後は、各グループに分かれ、お寺の不思議な伝説に挑戦しました。お寺の中はもちろん、境内も所狭しと子供たち

ちは探検します。大人でも大変な裏山散策も何のそのです。体を使って外で遊ぶという子供たちらしい姿を私たちに見せてくれました。

皆で夕食にカレーライスを食べ、辺りも暗くなってくると、いよいよ長光寺名物「肝試し」です。子供たちは恐る恐るながらも、提灯と道しるべの竹あかりだけを頼りに、見事にやり遂げてくれました。

一番うれしかったのは、暗闇を歩く子供たちから聞こえてきたお念仏の声でした(笑)。夏の夜に響き渡る「なむあみだぶつ！なむあみだぶつ！」のお念仏は、皆の心を和ませてくれたことでした。

来年もまた開催します。皆さんのご参加、どしどしお待ちしております！

千夏のきとぎと日記

今年の夏は、四年に一度のオリンピックの年でしたね。開催されたリオデジャネイロと

小学生五名が八月末日までラジ体操と朝のお参り、



日本の時差は十二時間でしたので、寝不足が続いた方も多かったことと思います。今回は富山県出身の田知本選手や登坂選手が金メダルを獲得し、地元も大変盛り上がりました。

そしてお寺の掃除を頑張ってくれました。掃除の後はブームのポケモンGOの話で笑いが絶えない大変楽しい時間を過ごさせていただきました。「暑さ寒さも彼岸まで」というように、ようやく過ぎ去り秋がやってきました。おいしい秋の私は「食欲の秋」と言いたいところですが、広濟寺に



世界中がオリンピック一色な頃、この広濟寺でも笹川のおいては、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ一番大切な法要「報恩講」が勤まります。婦人会の方々が作ってくださいます。皆さまと共に参りさせていただきます。楽しんでいきます。

お知らせ

二〇一六年

おみがき

十月二十七日(木)

午前九時より

報恩講

十一月五日(土)・六日(日)

午前九時半より

午後一時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳師

御伝鈔拜読

十一月五日(土)

午後四時より



子ども報恩講

十一月五日(土)

午後五時半より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(土)

午後七時より

御講師

新湊組 覚円寺 若院

青木 哲隆 師

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※月参りについて

十一月四日・五日・六

日の三日間はお休みさせていただきます。

よろしくお願いいたします。



編集後記

報恩講が近づくと、お迎えのための準備もいよいよ忙しくなってきました。

ご門徒の皆さんには、境内の掃除、御堂の準備、お齋とぎの下ごしらえ、案内配布など、準備段階から色んな面で力をお貸しいただいています。当日においても、世話役の皆さん、お齋を用意くださる



婦人会の方々が大活躍くださいます。そして何よりも、お参りくださるたくさんのご門徒さん方、また子ども報恩講に来てくれる子どもたちがいてくれてこそその報恩講です。皆さん一人一人の力が合わさって、このおかげ様の「報恩講」が勤められているのです。

私ども寺族としましては、ご門徒の皆さんに深く感謝申し上げますとともに、このおかげ様の「報恩講」が次代へと受け継がれていくようこれからも励んでいく所存です。どうか今年の報恩講も何卒よろしくお願いいたします。